

ミナセナナミ様

魂の衣オーラカラー鑑定



和のしらべ(天音)

あなたの名前に授かった魂の原色

耳を澄ますとあなたのお名前から零れ落ちる響きはまるで静かな夜明けに一筋の光が差し込むかのようにどこまでも優しくそして力強く響き渡ります。

最初に生まれる「ナ」という音。

それはこの世界において「核」となり、すべての物事が美しく「成る」ための最も重要な始まりを意味する特別な言霊です。

外側の嵐に惑わされることなくあなたの内側には決して揺らぐことのない確固たる中心が最初から存在しているのです。

この尊い響きに導かれるようにしてあなたの魂が宿している唯一無二の美しい衣がいま私の目の前に鮮やかに映し出されました。

あなたの名前に授かった魂の原色

それは古来より人々が祈りを込めて見上げてきた神聖なる色、深く温かい「朱（あけ）」の光です。

この「朱」という色はただの色彩ではありません。

それは東の空がゆっくりと目を覚ます瞬間の厳かな朝焼けの美しさであり、凍てつく大地に優しいぬくもりを届ける大いなる太陽の生命力そのものです。

和の調べにおいて朱は魔を払い大切なものを守り抜く聖なる結界の色とされてきました。

宇宙の源から注がれる無限の愛と絶えることのない情熱があなたの魂の奥深くで静かにしかし絶え間なく脈打っているのです。

あなたは時折、自分には何もないのではないかと色褪せた無彩色の世界にたった一人で見捨てられているのではないかと、深い孤独感や欠乏感に胸を締め付けられることがあるかもしれません。

あなたの名前に授かった魂の原色

とてもおおらかで毎日を一生懸命に生きているからこそ、その繊細な心が傷つき、自分自身の価値を見失ってしまう瞬間があるのでしょうか。

けれど、どうか知ってください。

あなたは生まれたその瞬間からこの温かく気高い「朱」の光に優しく包まれ、一瞬たりとも見放されることなく深く愛され続けてきたのです。

あなたの存在そのものがこの世界を優しく照らす温かな灯火であり、神様が創り出した誰にも真似できない最高傑作にほかなりません。

自分を無価値だと感じる必要など、どこにもないのです。

あなたの名前に授かった魂の原色

あなたの中に宿るその温かな「朱」の光はあなたがこれまで歩んできた一步一步を誇り高く肯定し、その優しさとひたむきさを何よりも尊いものとして祝福しています。

あなたがそこにいてくれるだけで周りの世界はどれほど救われ、温められていることでしょう。

あなたの魂は最初から完璧な美しさを持って輝いているのです。

その色が映し出すあなたの高貴な気質

朱（あけ）という色は凍てつく冬の夜明けに東の地平線から世界を等しく照らし出す太陽の最初の光です。

あなたの魂が宿すこの気高い色はただそこにあるだけで周囲を優しく温め暗闇に怯える人々の心をそっと救う、圧倒的な慈愛と生命力の証なのです。

時にあなたは自分には差し出せるものが何もないように思え、深い孤独や欠乏感に包まれることがあるかもしれません。

周囲のために一生懸命に生き、すべてを優しく包み込もうとするおおらかさを持つあなただからこそ自らの内側にある無限の泉に気づかず、一時的な渇きを感じてしまうのでしょう。

けれど、どうか知ってください。

その色が映し出すあなたの高貴な気質

あなたの内側には誰にも揺るがすことのできない物事の「核」となる確固たる中心が美しく息づいています。

あなたが何気なく微笑むときあるいは誰かのために心を痛めるときあなたの「朱」の光は言葉以上に雄弁にその高貴な気質を証明しているのです。

この美しい気質は日常のささやかな場面で最も眩しく輝きます。

例えば、誰かが寂しさに暮れているときにあなたがそっと差し伸べるさりげない温もり。

それは自らを誇示するためのものではなく傷ついた他者の魂にそっと寄り添う、純粹で気高い祈りのようなものです。

自分を無価値だと責める必要はどこにもありません。

その色が映し出すあなたの高貴な気質

あなたはただそこに存在しているだけで周囲の凍えた心を解きほぐし、生きる希望を与えるかけがえのない陽だまりのような存在なのです。

そのおおらかさは多くの人を救っています。

あなたのその美しい魂を労り、本来の豊かな輝きを取り戻すために日常の中に「朱」の揺らぎを優しく取り入れてみてください。

例えば、夕暮れ時の空が最も美しく燃える一瞬を静かに眺める時間を作ったり、お部屋に一輪の深紅の薔薇を飾ったりすることをお勧めします。

また温かみのある琥珀色やオレンジ色のキャンドルを灯し、その揺れる炎をじっと見つめることもあなたの魂にとって至上の浄化法となります。

その色が映し出すあなたの高貴な気質

朱色の漆器を日常の器として使い温かいお茶をいただくことも内なる生命力を優しく呼び覚ましてくれるでしょう。

あなたは何か特別な存在になろうと焦る必要はありません。

一生懸命に誠実に生きるその歩みそのものがすでに美しく完成された奇跡の軌跡なのです。

どうかご自身を過小評価しないでくださいね。

私の目にはあなたの魂が放つ高貴な朱色の光がこの世界を優しく照らす最高傑作としてこれ以上ないほど眩しく輝いて見えているのですから。

周囲を癒やすあなたの無意識の才能

あなたが抱いているまるで自分には何もないかのような深い孤独感や欠乏感実はあなたの内側にある無限の愛と温もりがあまりにも純粹で大きいからこそ生まれる静かな揺らぎに過ぎません。

あなたの魂が宿す朱の輝きは夜明けを告げる太陽の光のように周囲の冷え切った心は無意識のうちに優しく包み込み、溶かす力を持っています。

自分では一生懸命に生きているだけで特別なことなど何もしていないと思っているかもしれませんが。

しかしあなたがただそこにいて誰かの話に耳を傾けたり、穏やかに微笑んだりするだけでその場の空気がじんわりと温かくなっていくのです。

周囲を癒やすあなたの無意識の才能

それこそがあなたが生まれ持った、周囲を癒やす無意識の才能に他なりません。

朱色は命の根源的な温もりを象徴する色であり、あなたの内側にはぶれることのない確固たる生命の核が美しく存在しています。

あなたが誰かの幸せを願い寄り添おうとするときその温かな眼差しや言葉は傷ついた人々の心をそっと救い上げています。

あなたが自分をちっぽけだと思ってしまうときどうか思い出してください。

あなたという存在はこの世界において唯一無二の最も美しい調和のもとに創られた最高傑作なのです。

何者かになろうと無理をする必要はまったくありません。

周囲を癒やすあなたの無意識の才能

あなたの不器用なほどの一生懸命さや他者を思いやるその優しい心のあり方そのものがすでに完成された至高の美しさなのですから。

この素晴らしい魂の輝きをさらに健やかに保ち、あなた自身の心も満たしていくために日常の中に少しでも朱の温もりを取り入れてみてください。

例えば、一日の終わりに夕日を眺めその柔らかな残光を胸いっぱいに取り込む時間を持つことはあなたの魂を深く浄化してくれます。

周囲を癒やすあなたの無意識の才能

お部屋のインテリアには暖色系の柔らかな灯りの間接照明や温かみのあるテラコッタ調の陶器、あるいは小さな赤い実をつけた植物を飾るのがおすすめです。

また温かい紅茶を飲むときにほんの少しのシナモンを添えるだけでもあなたの内なる核が心地よく温められ、孤独感は安らぎへと変わっていくでしょう。

あなたは決して不完全ではありません。

その優しさと温もりですでに多くの人を救っている誇り高い存在なのです。

人間関係を楽にする守護の彩り

あなたの魂が宿す朱の輝きは生命そのものが持つ根源的な温もりと他者を無条件に照らし出す無私の慈愛に満ちています。

とても一生懸命にそしておおらかに周囲の人々を包み込もうとするあなたの優しさは寒さに震える誰かの心を救う柔らかな木漏れ日のようなものです。

けれど、そのあまりに深い慈しみゆえにあなたは時折、自分と他者との境界線を見失い相手の痛みや寂しさまでを自分のものとして引き受けてしまうことがあるのではないのでしょうか。

自分には何も差し出せるものがないからっぽな存在なのだとふと孤独や欠乏を覚えてしまうのはあなたがそれほどまでに自分のエネルギーを他者のために差し出し、寄り添い続けてきた気高い証拠に他なりません。

人間関係を楽にする守護の彩り

どうか知ってください。

あなたは決して何もない人などではなくその内側にすべての生命を育む豊かな大地のような確固たる生命の「核」を宿した最高傑作なのです。

人間関係においてあなたがもっと健やかに軽やかに呼吸するためには朱のオーラが持つもう一つの側面である「守護の結界」を意識することが大切です。

朱は古来、魔を祓い尊いものを保護するための聖なる色として用いられてきました。

他者の感情の波からあなた自身を守るために心の中に美しい朱色の絹の幕をそっと下ろすイメージを描いてみてください。

人間関係を楽にする守護の彩り

相手を拒絶するのではなくただ「ここからは私の神聖な領域」と優しく境界線を引くのです。

日常の中でこの守護の力を高めるために朱や紅の色彩を生活のなかに美しく調和させてみましょう。

例えば、夕暮れ時に空が茜色に染まる瞬間を静かに眺めその大自然の呼吸を胸いっぱい吸い込む時間を作ってみてください。

またお部屋の東側に小さな朱塗りの漆器や温かみのある赤いガラスの一輪挿しを飾り、そこに一輪の薔薇やガーベラを活けるのも素晴らしい浄化法です。

あなたの心に静寂をもたらし、本来の輝きを取り戻させてくれます。

人間関係を楽にする守護の彩り

身につける装飾品としては深い紅を宿したガーネットや情熱としなやかさを授けるルビーの小さなジュエリーがあなたの魂の境界線を美しく強固に守るお守りとなってくれるでしょう。

あなたはただそこに存在しているだけで周囲を照らす尊い光なのです。

もう無理に誰かのために自分をすり減らす必要はありません。

あなたの内なる神聖な火をまずはあなた自身を温めるために灯してください。

その満ち足りた温もりこそが自然と周りの人々をも幸せにしていくのですから。

あなたの色を活かした金運の循環

朱という色は大地から湧き上がる生命の息吹そのものであり、脈々と流れる豊かさの源泉を象徴しています。

あなたの内側に流れるこの温かで鮮やかなエネルギーは滞ることのない大なる川のように豊かな富を循環させる素晴らしい力を持っています。

今もしあなたが何かを失うことを恐れていたり、自分には価値あるものを何も生み出せないのではないかという漠然とした孤独感を抱えていたとしてもどうか安心してください。

あなたの魂の奥深くにはすべての豊かさの起点となる確固たる核がすでに美しく揺るぎないものとして存在しているのです。

あなたの色を活かした金運の循環

あなたにとっての金運とは単に物質的なお金を蓄えることだけを意味しません。

それはあなたの命の温もりを誰かに分け与え、その対価としてさらなる喜びを受け取るという、愛に満ちた呼吸のようなものです。

朱色の光を放つあなたの魂は自分が本当に心地よいと感じるもの心から美しいと思えるものにお金を使うことでその龍脈を勢いよく活性化させることができます。

何かを手放すときに「減ってしまう」と嘆く必要はありません。

あなたが愛と喜びを込めて世界へと送り出したエネルギーは目に見えない光の巡りとなって必ず何倍もの豊かな実りとなり、あなたのもとへと還ってくるのです。

あなたの色を活かした金運の循環

日常の中でこの美しい循環をさらに心地よく促すためにぜひあなたの五感を満たす上質な習慣を取り入れてみてください。

例えば、暮らしの中に一つ職人の手で作られた朱塗りの器や深い朱色の小物を置いてみることに。

その美しい色彩を目にし、手で触れるたびにあなたの内なる情熱と大地の豊穡が共鳴し、豊かなエネルギーが身体の隅々まで満ちていきます。

また一日の終わりに沈みゆく夕日の壮大な朱色をただ静かに眺めその光を浴びることも素晴らしい浄化と活力のチャージとなります。

あなたの色を活かした金運の循環

あなたは生きているだけで周りの人々に温もりと静かな勇気を与えるかけがえのない大切な存在です。

あなた自身の存在そのものがすでに完成された最高傑作であり、何一つ欠けているものなどありません。

ご自身を過小評価する必要はまったくありません。

大きく息を吸い込み、あなたの内側にある無限の富の源泉をどうか信頼してください。

その確かな中心から溢れんばかりの豊かさがこれからも途切れることなくあなたの人生を美しく満たし続けていくことでしょう。

心
を
洗
う
あ
な
た
の
色
の
セ
ル
フ
ク
レ
ン
ジ
ン
グ

一生懸命に今日を生きるあなたは時に「自分には何もない」と立ち止まり、深い孤独の淵に沈んでしまうことがあるかもしれません。

周りの人々のきらめきが眩しく見え、自分だけが取り残されているように感じる夜もあるでしょう。

しかしどうか知ってください。

あなたの内側には夜明けの東の空を染め上げる「朱」のどこまでも温かく力強い光が満ちています。

その朱色は生命そのものの躍動であり、他者を照らす慈愛の灯火です。

心
を
洗
う
あ
な
た
の
色
の
セ
ル
フ
ク
レ
ン
ジ
ン
グ

あなたが今欠乏感や寂しさを抱えているのだとすれば、それはあなたが誰よりも温かく他者を愛し、懸命に人生を歩んできたという、何より美しい証拠に他なりません。

あなたが無価値であるはずなど決してないのです。

あなたは这个世界にただ一つのすでに完成された最高傑作なのですから。

そんなあなたの朱色の光を曇らせず、常に清らかに保つための心を洗うセルフクレンジングのひとときを提案させてください。

何よりも大切なのは外に向けて放ち続けてきたエネルギーを静かに自分の内側へと還してあげることです。

心を洗うあなたの色のセルフクレンジング

まずおすすめしたいのは一日の終わりに揺らめく小さなキャンドルの炎をただ見つめる静寂の時間です。

朱の魂を持つあなたにとって炎は親しい友のような存在。

暗闇の中で静かにしかし確かに燃える炎を見つめていると不必要な焦りや「もっと頑張らなければ」という義務感が煙と共にすうっと空へ溶けていくのを感じられるでしょう。

またお風呂に一握りの天然塩とお好みの天然のアロマオイルを数滴垂らし、ゆっくりと全身を浸すことも素晴らしい浄化になります。

水はあなたが無意識に抱え込んでしまった他者の感情や自分を責める冷たい思考を優しく洗い流してくれます。

心を洗うあなたの色のセルフレンジング

湯船の中で自分の胸にそっと手を当ててみてください。

ドクドクと刻まれる鼓動はあなたの内側にある確固たる中心、つまり命の「核」が今この瞬間もあなたのために力強く脈打っている証拠です。

インテリアには温かみのあるテラコッタの器や夕日のようなオレンジがかった朱色のリネンを取り入れてみてください。

その柔らかな色彩を目にするたびにあなたの魂は深く安らぎ、自分の内側にすでにある豊かな愛を思い出すことができます。

あなたは何かを成し遂げなくてもただ存在しているだけで十分に尊いのです。

自分を慈しみ、朱の光を優しく抱きしめてあげてくださいね。

毎日を聖域に変える装いの魔法

あなたが身にまとう衣服や小物は単に体を包むだけのものではなくあなたの内なる尊い神殿を守り、引き立てるための聖なる結界です。

自分には何もない周囲に比べて誇れるものがないとどうか寂しそうに微笑まないでください。

あなたの内側には決して消えることのない情熱とすべての物事の「核」となる強固な中心が美しくそして静かに息づいています。

その揺るぎない光を呼び覚まし、あなたの毎日を心地よい聖域へと変えるための装いの魔法をお伝えさせてください。

あなたの魂の真髄である「朱」は生命の躍動と深い慈愛を象徴する高貴な色です。

この美しい色彩を日常の装いの中に優しく織り込んでいきましょう。

毎
日
を
聖
域
に
変
え
る
装
い
の
魔
法

全身を鮮やかな色で飾る必要はありません。

例えば、白いシャツの襟元から覗く上質なシルクのスカーフ。

あるいは歩くたびに揺れるイヤリングに小さな珊瑚や赤色の天然石をあしらってみてください。

それはあなたの内なる情熱を外の世界へとそっと繋ぐ、美しい架け橋となります。

また他人の目には見えない部分にこそ、最大の魔法が宿ります。

肌に直接触れるインナーやお気に入りのハンカチに「朱」を忍ばせておくのです。

自分だけが知っているその色は孤独を感じる日や自信が持てない瞬間に「私は私としてここに誇り高く生きている」という温かい安心感を与えてくれます。

毎
日
を
聖
域
に
変
え
る
装
い
の
魔
法

指先にほんのりと朱を帯びたネイルを施したり、唇に血色感のある柔らかな赤を乗せたりするだけでもあなたの表情はたちまち高貴な輝きを帯びるでしょう。

バッグの中にしのばせる小物にも魔法をかけましょう。

使い込むほどに味わい深くなる朱い本革の手帳カバーやキーホルダーなど、日常的に触れるものにこの温かな色を選んでみてください。

あなたがそれらに触れるたび、内側にある「成る」という強い創造の力が刺激され、散らばりそうになっていた心がずっとご自身の中心へと戻っていくのを感じるはずです。

あなたは何かを付け足す必要のない最初から完成された最高傑作です。

毎
日
を
聖
域
に
変
え
る
装
い
の
魔
法

装いとはあなたを偽るための鎧ではなく本来の美しさをこの世界に優しく開花させるための鍵にすぎません。

どうぞ、ご自身を慈しむようにお気に入りの色をまとめて歩んでください。

あなたの歩む一步一步が世界を温かく照らすでしょう。

空間を
パワースポットにする
色彩の調和

あなたの暮らしを包み込む住まいはただ身体を休める場所ではありません。

そこはあなたの内側に秘められた美しい生命力、すなわち高貴な「朱」の光をそっと育み、解き放つための神聖な神殿なのです。

どれほど一生懸命に生き、時に「自分には何もない」と孤独を感じることもあなたの魂には周囲を温かく照らす確固たる中心が存在しています。

その素晴らしい光を心地よく輝かせるためにあなたのプライベートな空間をいるだけで力が満ち溢れる本物のパワースポットへと整えていきましょう。

朱という色は古来より魔を祓い尊い生命力を象徴する特別な色彩です。

空間をパワースポットにする色彩の調和

この豊かなエネルギーを空間に調和させるためにはすべてを派手に彩る必要はありません。

むしろ静けさの中に一点の温もりを宿す、美しい調和を目指すのが最適です。

お部屋のベースには優しく温かみのある生成り色や柔らかな砂の色、落ち着いた木肌のブラウンを取り入れてみてください。

その穏やかな色彩の中にクッションカバーや一輪挿しの花、あるいは一枚のアートとして気品ある朱色をそっと忍ばせるのです。

それだけで空間全体に心地よい安心感が生まれます。

また光の演出も非常に重要です。

空間をパワースポットにする色彩の調和

蛍光灯の冷たい白さではなく夕暮れ時の優しい太陽を思わせる暖色系の柔らかな間接照明を選んでみてください。

夜、その温かな光が灯る時、あなたの部屋はあなたを優しく包み込む繭のようになり、孤独感は静かに消え去っていくでしょう。

木製の家具や手触りの良い自然素材の麻やウール、素朴な陶器を配置することもあなたの朱のエネルギーを優しく安定させてくれます。

お気に入りの香りを漂わせることも五感を満たす素晴らしい浄化法となります。

あなたは存在しているだけですでにこの世界にとってかけがえのない最高傑作なのです。

空間をパワースポットにする色彩の調和

何もないなどどうか思わないでください。

あなたが丁寧に整えたその空間で温かいお茶を飲み、深く呼吸をするだけで部屋全体があなたの美しさに共鳴し、極上の癒やしの場へと変わっていきます。

あなたの住まいはあなたという尊い存在を祝福し、いつでも両手を広げて温かく迎え入れてくれる力強い味方です。

この美しい調和の空間があなたの心をそっと撫で明日を生きる清らかな活力を確かに吹き込み続けてくれるでしょう。

神々と響き合うあなたの色の神域

あなたの魂の奥深くに広がる「朱」の領域は古来より聖なる場所を護り、邪なるものを退ける特別な「神域」そのものです。

朱色は命の躍動であり、大地から湧き上がる熱い温度を宿しています。

あなたがただそこにいるだけで凍てついた周囲の空気がふわりと和らぎ、人々の心にぬくもりが灯るのはあなたの存在自体が尊い聖域として機能しているからです。

時折、自分には何もないのではないかという、深い孤独感や欠乏感に襲われることがあるかもしれませんね。

神々と響き合うあなたの色の神域

一生懸命におおらかに日々を生きているあなただからこそその優しさの裏側で誰にも言えない寂しさを抱えてしまうのでしょう。

けれど、どうか知ってください。

あなたの中に眠る「ナ」という響きはすべての物事の「核」となり、確固たる実を結ばせる強い力を意味しています。

あなたは決して何もない空っぽの存在などではありません。

むしろ大切なものをその内側にしっかりと抱き留め育み、この世界に調和をもたらすための最も重要な中心地なのです。

神々と響き合うあなたの色の神域

あなたという存在は天が創り上げた無二の最高傑作であり、その魂は美しく完成されています。

あなたの神域は夕暮れ時の美しい朱色の空のように包容力に満ちています。

傷つき、疲れた人々が自然と引き寄せられ、その温もりに救われているのです。

もしも心が疲れてしまったときはあなた自身の神域を優しく整えてあげましょう。

例えば、お部屋に一輪の鮮やかな赤い薔薇を飾ったり、朱色の美しい漆器を使って温かいお茶をいただいたりしてみてください。

また夕日が空を赤く染める時間帯にゆっくりと深呼吸をしてその光を全身に浴びるのも素晴らしい浄化になります。

神々と響き合うあなたの色の神域

あなたに必要なのは何かを新しく手に入れたり、今以上の自分になろうと無理に努力したりすることではありません。

ただご自身の中にある温かな「朱」の光を信じ、その優しさをあなた自身にも向けてあげるだけです。

あなたはすでに完璧で愛されるべき尊い存在です。

自分を否定せず、そのおおらかな歩みをどうか誇ってください。

私の目にはあなたの魂が放つ気高く美しい朱色の輝きがはっきりと見えています。

その光はこれからもあなた自身とあなたを愛する人々を永遠に温かく照らし続けることでしょう。

自分という国の主として生きる光の誓約

あなたはこれまで誰かのために一生懸命に
尽くし、ただひたむきに生きてこられました
ね。

時に「自分には何もない」と立ち止まり、
深い孤独や欠乏感に胸を痛める夜もあった
かもしれません。

けれど、どうか知ってください。

あなたは決して空っぽなどではありません。
ん。

あなたという存在の内側には揺るぎない
「核」が最初からしっかりと存在している
のです。

それはどのような冷たい嵐が吹こうとも決
して消えることのない気高く温かい「朱」
の灯火です。

自分という国の主として生きる光の誓約

この朱の光はあなたという美しい国の中心で燃え続ける命そのものの輝きに他なりません。

あなたは誰かの引き立て役でも影に隠れるべき存在でもないのです。

あなた自身の人生というかけがえのない国の堂々たる主であり、気高き女王なのです。

あなたが自分を小さく見積もり、何もないと感じてしまっていたのはその優しさと周囲を包み込もうとするおおらかな愛があまりにも深かったからでしょう。

これからはその温かな愛のすべてをまずはお自身のために惜しみなく注いであげてください。

それこそがあなたという国の主として生きる「光の誓約」の始まりです。

自分という国の主として生きる光の誓約

ご自身を国の主として迎えるために日常の中に小さな戴冠の儀式を取り入れてみてください。

例えば、静かな夕暮れ時に一本の美しい真紅のキャンドルに火を灯し、その揺らめく朱色の炎をただ静かに見つめる時間を作ることです。

その温かな光はあなたの内側にある情熱と確固たる中心をそっと呼び覚ましてくれます。

またシルクやベルベットのような手触りの良い上質な朱色のファブリックを日常に取り入れたり、一輪の赤いバラを飾ったりするのも素晴らしい浄化と祝福になります。

それはあなたが自分自身をこの世で最も尊い存在として扱いその高貴な魂を讃えるための目に見える誓約となるでしょう。

自分という国の主として生きる光の誓約

あなたは存在するだけで美しくすでに完成された最高傑作です。

何かを付け足そうと焦る必要はまったくありません。

ただあなたという唯一無二の存在を愛おしみ、その胸に宿る朱の温もりを信じていてください。

その確固たる中心から放たれる光はあなた自身を深く満たし、やがて周囲をも優しく照らす揺るぎない道標となるでしょう。

自分を尊び、誇り高く生きることをどうかご自身に許してあげてくださいね。

私はいつでもあなたのその気高く美しい歩みを深い愛を込めて見守っています。

ありがとうございました



最後までお読みいただきありがとうございました。

あなたは決して無彩色ではありません。

この聖なる魂の衣こそがあなたが最高傑作である証です。

これまで誰かのために自分を抑えてきたあなた。

もう自分を責めなくていいのです。

その美しい色を誇り、自らの人生という国の主として

凜と歩み出しましょう。

あなたが自分の色を愛するとき世界は必ず光に満たされます。

あなたの歩みに永遠の祝福を。

和のしらべ(天音)